



島高だより
令和7年11月号
(通巻第236号)
長崎県立島原高等学校
編集：教育企画部

校長室から



『大丈夫！』

校長 渡崎次郎

佐世保北勤務4年目、31歳のとき、理数コース3年の担任を飛び込みで持たせてもらった。とっても元気のいいクラスで、個性豊かな生徒が多かった。勉強だけでなく、部活動や学校行事にも一生懸命取り組んでいた。私も、生徒一人一人の情熱に情熱で答えなければと毎日思っていた。県高校総体前に膝を故障し、試合に出場できなかった女子バスケットボール部の副キャプテンが、気持ちの切り替えができないので、文化祭のダンスに参加させてほしいと相談に来たときも、「全力でやれ！」と迷わず答えた。「そうしなければ、この子は後悔する。気持ちの切り替えはできない。」と思ったし、「この子は絶対やれる！」と思った。ダンスの練習をしながらも授業に全集中し、彼女は文化祭で脚光を浴び、センター試験で爆発し、第一志望の大学に合格した。悔いが残った県高校総体から、きっと気持ちの切り替えができたのだろう。

当時、佐世保北はセンター試験の会場だった。小体育室が佐世保北の生徒達の控え場所になっていた。自校で受験できるため、生徒達は他校生より緊張せず、リラックスして受験できていたと思う。そんな中、事件は起こった。「終わった科目のことは考えない。喋らない。次の科目に全力で臨む。」ということをお説きく言ってきた。にもかかわらず、数ⅠAが終わって小体育室に戻ってきた生徒達は口々に、「やばい。」と言っている。きっと難しかったのだろう。「終わった科目のことは考えずに、次の科目に集中するぞ。」と、叫んでいる私の所へ、一人の女子生徒が、「次郎先生！難しかった。」と涙目で駆け寄って来た。医学科志望のこの女子生徒は数学も得意で、模擬試験ではいつも満点だった。そんな彼女が難しかったと言うくらいだから、どれだけ難しかったのかわかる。「お前が難しかったのなら、みんな解けとらんさ。」と言ったけど、彼女に笑顔は戻らなかった。私は焦った。どうしていいかわからなかった。なんと言えいいかわからなかった。すると突然、私の背後から、進路指導主事の〇〇先生（数学担当）が現れ、ズボンのポケットに手を突っ込み、お腹を突き出し（突き出していた訳ではなかったかも）、大きな声で、「上を向いて♪ 歩こう♪ 涙がこぼれないように♪」と歌い出したのであった。私はあっけにとられた。女子生徒もあっけにとられた。周りの生徒達もあっけにとられた。そして歌い終わった〇〇先生は最後に、「大丈夫！」とおっしゃった。これには参った。女子生徒も周りの生徒もみんな笑い出し、「〇〇先生！お腹さわらせてください～」と笑顔で〇〇先生のもとに集まった。そして気持ちを切り替えて、数ⅡBに向かって行った。「ありがとうございました。」とお礼を言った私に、〇〇先生はニコッと微笑んでくださった。

気持ちを切り替えた生徒達は、数ⅡBに全力で挑み、実力を発揮し、女子生徒は満点を取った。しかもこの年の数ⅠAの全国平均点は50.71点と低く、女子生徒にとってもそれほど影響はなく、彼女は現役で国立大学の医学科に合格した。〇〇先生、本当にありがとうございました。

島高3年生のみなさん。もし、入試本番で同じような経験をした時には、この話を思い出してください。そして気持ちを切り替えて、全力で次の科目に挑んでください。みなさんならきっと「大丈夫！」。

島高青楓塾 心に響く人生の達人セミナー

11月12日（水）、東京大学大学院工学研究科教授、酒井崇匡先生（本校50回生）に「Beyond the Border 一境界を超えて、未来を拓く」と題して、講演していただきました。本校卒業後、東京大学に進まれて教授となられた先生のお話は非常に魅力的で、参加者全員が引き込まれるものでした。酒井先生が研究されているゲルの説明をわかりやすくしていただき、その研究がどのように社会に生かされているかを知り、研究と実生活のつながりを感じることもできました。さらには「自分の限界を決めているのは自分でしかない」「やる気が出るならなんでも良い」「グレーはやめて白黒つけよう」など、ご自身の高校生活を振り返りながら、生徒たちの学習や探究活動に対するモチベーションが上がるお話もあり、生徒一人ひとりの心に響いているようでした。講演会後は、パネルディスカッションを実施し、パネリストの生徒から多くの意見が出るなど、盛況のうちに終了しました。（教育企画部）

【生徒感想】

- 先生は研究の中で「失敗したことはない」とおっしゃっていました。とてもかっこいいと思ったので、私も間違いをそのままにせず、一つひとつ解決して、失敗を成功の糧とできるようにしたいです。
- 自身の大きな成長や前進には限界を超えて一歩進まなければならないということを確認できました。



主権者教育

11月19日（水）の7限目に、選挙に係る意識啓発及び公職選挙法の法的理解の促進を目的として、島原市選挙管理委員会より本多亮博様をお招きして講話をいただきました。

講話では動画やスライドを活用し、特に若者の投票率が下がると、どのような問題が起こるかを学びました。生徒の感想では、選挙や政治に対する理解が深まり、有権者になったら、投票に行こうと思うという意見が多くみられました。（地歴公民科）



探究活動 中間発表会

11月7日(金)の午後から、探究活動中間発表会を実施しました。2年生が、この4月から取り組んできた探究活動の現時点での成果をポスター発表の形で披露しました。

最初に1年生の代表生徒2名が学年コンテストの成果を発表しましたが、質疑・応答にも見事に答え、1年生「探究基礎」の取り組みの成果を見せてくれました。

2年生はこの半年間の活動成果の報告と現時点での課題の確認を行いました。昨年度より文理探究科(理数科)だけでなく普通科の探究活動についても中間発表を行うようになりましたが、まだまだ課題は残るものの、それぞれ独創性に富んだ研究テーマを立て、熱心に活動に取り組んでいました。今回の発表で得られた反省点や修正点を今後の活動につなげ、3月5、6日に実施予定の「島高探究発表大会」につなげてほしいと思います。(教育企画部)



沐浴体験

11月4日(火)～11月6日(木)に、1年生の3クラスが家庭科の授業で、妊婦体験・沐浴体験を行いました。

助産師の佐藤信子さんをお迎えして、出産や育児命の大切さについて、お話を聞きました。また、妊婦シミュレーターを着用して、歩いたり、横になったり、足の爪を切る動作などを行い、妊娠9か月の妊婦の体を体験しました。さらに、沐浴の方法や赤ちゃんの抱き方などを、体験しながら学びました。ボランティアで、保護者の方々がお手伝いをしてくださいました。ご協力ありがとうございました。

12月1日(月)～12月3日(水)には、後半3クラスが体験を行います。(家庭科)



12月の主な行事予定

1日(月)～5日(金)	20日(土)
修学旅行(2年)	県下一斉実力テスト(1・2年)
6日(土)～7日(日)	24日(水)
共通テストプレ(3年)	2学期終業式
10日(水) 薬物乱用防止講話	25日(木)～26日(金)
16日(火)～23日(火)	冬季補習(3年)
三者面談(午前中授業)	27日(土)～28日(日)
19日(金) マラソン大会	共通テストプレ(3年)
	1月8日(木) 3学期始業式

修学旅行予告

令和7年度2学年修学旅行は、3泊4日で台湾となります。A団(5・6組)の日程は12/1～12/4で、B団(1～4組)の日程は12/2～12/5となります。

事前学習として、台湾を紹介する冊子の作成・B&Sプログラム(班別自主研修)の計画などに取り組んできました。入国申請やパスポートの取得など、国内旅行では経験できないことを初めて経験する生徒も多いのではないのでしょうか。不安を感じる生徒も多いのかなと思っていましたが、想像以上に修学旅行を楽しみにしている生徒が多いと感じています。日本とは異なる文化、雰囲気、匂いに触れ、充実した修学旅行になるよう支えてまいります。

保護者様へはClassiを利用して現地の様子をお伝えするように計画しています。帰国後にはぜひ、子どもたちの話を聞いてもらいたいです。保護者様には朝早くの送迎から夜遅くのお迎えまでお手数をおかけしますがよろしくお願いします。(2学年)